

新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その8）

～JTBF旅行実態調査結果より～

2021年1月13日

公益財団法人日本交通公社
観光地域研究部 市場調査チーム

調査結果

1. コロナ禍における旅行への影響	… p.4
(1) コロナ禍における旅行への影響	… p.4
(2) 旅行をとりやめた時期	… p.5
(3) 旅行をとりやめた理由	… p.6
2. この先3ヶ月の旅行予定	… p.7
3. コロナ禍収束後の旅行意向	… p.8
4. コロナ禍における日常生活への影響	… p.10
(1) 家計への影響	… p.10
(2) 不安の程度	… p.11
(3) 不安の内容	… p.12
(4) 日常生活での対策	… p.13

調査概要

調査名 : JTBF旅行実態調査2020【全体調査】
 調査対象 : 全国16～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出）
 調査方法 : ウェブ調査
 調査項目 : 3か月ごとの旅行実施の状況、今後の旅行予定・意向、コロナ禍における日常生活への影響、等

■ 第1四半期調査（5月調査） 調査期間：2020年5月1日～5月11日

	男性								女性								合計
年齢（歳）	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	783	2,473	3,873	6,481	4,555	3,978	3,729	25,872	801	2,667	3,801	5,575	4,501	3,943	2,840	24,128	50,000
構成比（%）	1.6	4.9	7.7	13.0	9.1	8.0	7.5	51.7	1.6	5.3	7.6	11.2	9.0	7.9	5.7	48.3	100.0

■ 第2四半期調査（7月調査） 調査期間：2020年7月9日～7月15日

	男性								女性								合計
年齢（歳）	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	592	3,605	2,201	4,280	3,316	3,672	3,603	21,269	1,149	3,443	3,995	6,502	5,553	4,806	3,283	28,731	50,000
構成比（%）	1.2	7.2	4.4	8.6	6.6	7.3	7.2	42.5	2.3	6.9	8.0	13.0	11.1	9.6	6.6	57.5	100.0

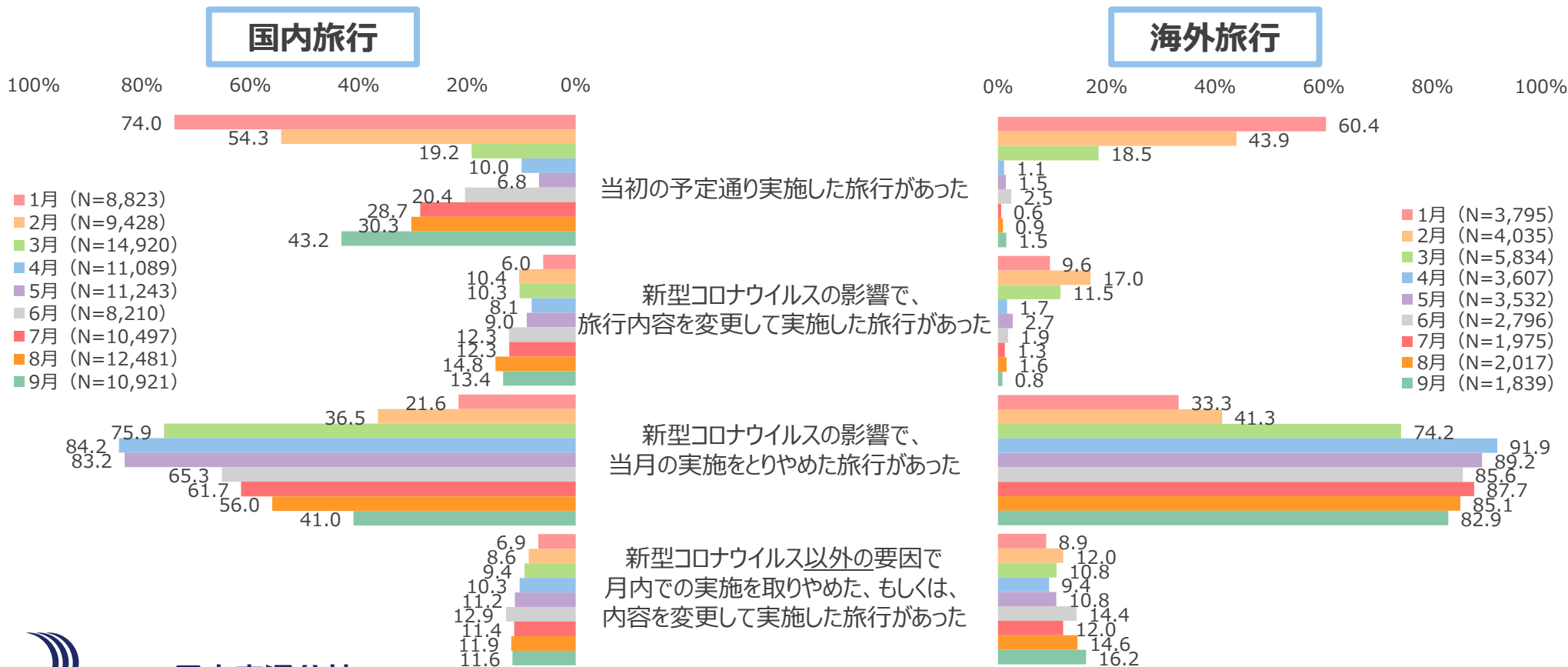
■ 第3四半期調査（10月調査） 調査期間：2020年10月1日～10月7日

	男性								女性								合計
年齢（歳）	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の大きさ（人）	512	2,957	3,755	5,210	4,249	3,988	3,360	24,031	672	2,808	3,744	6,009	4,910	4,829	2,997	25,969	50,000
構成比（%）	1.0	5.9	7.5	10.4	8.5	8.0	6.7	48.9	1.3	5.6	7.5	12.0	9.8	9.7	6.0	51.9	100.0

9月の国内旅行「予定通り実施」4割に回復

- 「当初の予定通り実施した旅行があった」と答えた割合は、国内旅行では5月に6.8%と、最も低い割合となりましたが、6月以降その割合は徐々に増加、9月に4割まで回復しました。
- 新型コロナウイルスの影響によって「当月の実施をとりやめた旅行があった」と答えた割合は、国内旅行、海外旅行ともに4月が8~9割とピークになっています。国内旅行においては、9月に4割まで減少しています。

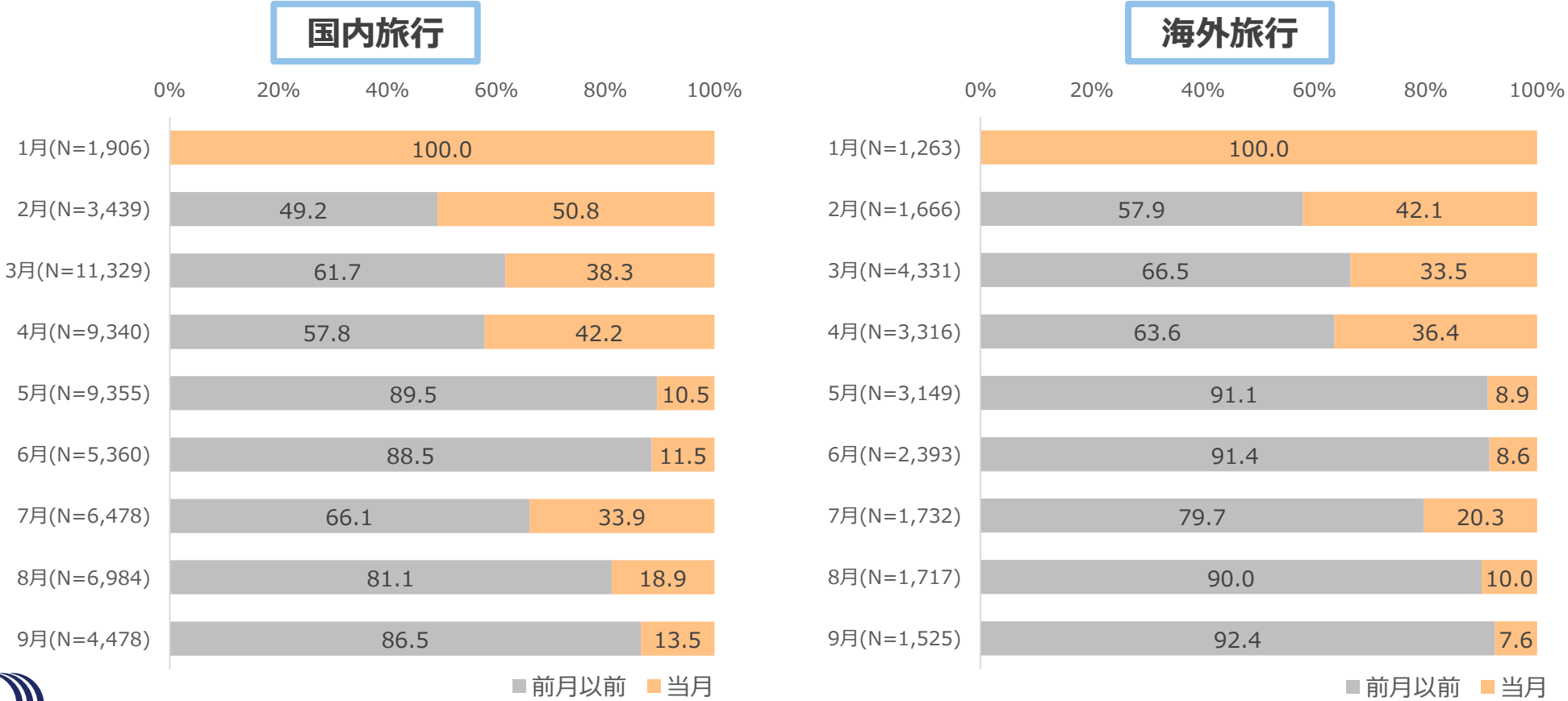
Q. 新型コロナウイルスの影響で、中止・延期した観光・レクリエーション旅行がありましたか。
(日帰り含む・旅行を計画していた人のみ)【複数回答】



7～8月：当月の旅行とりやめ、3～2割に再び増加

- 7～9月に実施予定だった旅行のとりやめた時期について尋ねたところ、7月に予定していた旅行では当月のとりやめが3割超と6月から22ポイント増加し、8月にその割合はやや減少したものの2割となりました。7～8月にかけて感染者数が全国で増加しており、状況を見ながら旅行の実施を検討した回答者が多かったと考えられます。
- また7～9月の海外旅行においては、1～6月と同様、国内旅行よりも早めにとりやめを決定する傾向がみられました。

Q. 旅行のとりやめを決定した時期はいつですか。(新型コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)



1～9月とりやめ理由「感染リスク回避」最多

- 旅行のとりやめにおいては、国内旅行・海外旅行ともに「感染リスク回避」がいずれの月でも最大の要因でした。国内旅行では「自分自身の感染リスク回避」は3月が最も多く、9月にかけて徐々に減少しています。
- 「自粛要請」を国内旅行とりやめの理由とした割合は、1～5月にかけて徐々に増加し、緊急事態宣言解除下にあった5月にピークとなり、6～9月にかけて2.5割まで減少しています。

Q. 旅行をとりやめた理由について、当てはまるものをお選びください。(新型コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)【複数回答】

※2020年4月7日に発出された緊急事態宣言の全国的な解除は5月25日です。

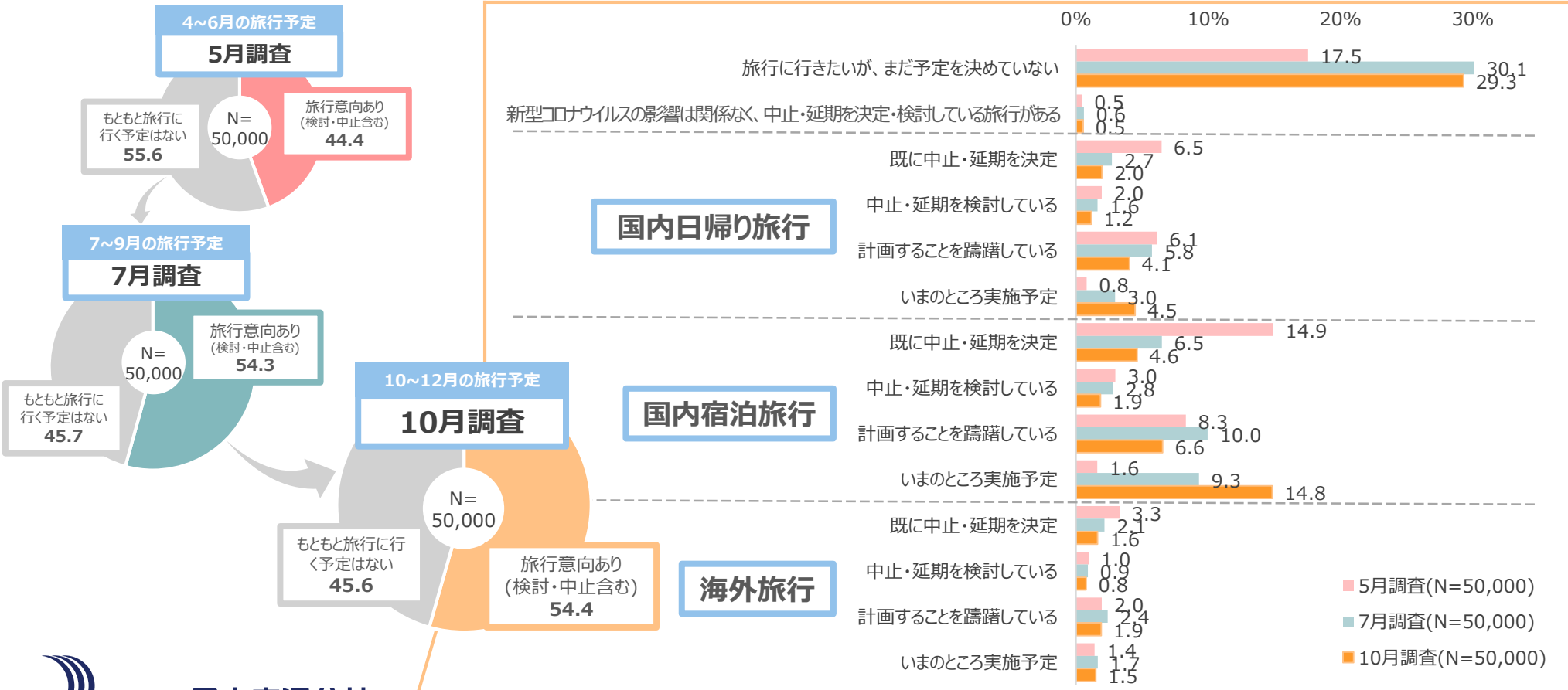
(%)

		自分自身の 感染リスク回避	同行者の 感染リスク回避	旅行中に接する人への 感染リスク回避	自粛要請	周りからの非難回避	家族や友人等 からの助言	旅行目的としていた イベント等の中止	同行者の意向	旅行先の受入制限	現地までの交通制限	参加予定のツアー等 の中止	新型コロナの影響による 経済的要因	新型コロナ対応で 多忙	その他
国内旅行	1月 (N=1,906)	80.5	49.4	40.6	18.0	17.6	16.7	10.2	12.1	7.2	6.9	6.7	6.1	6.1	0.7
	2月 (N=3,439)	80.1	53.2	44.8	21.2	16.4	16.4	12.8	12.0	6.3	4.5	5.6	3.5	4.2	0.8
	3月 (N=11,329)	81.2	58.0	51.1	34.6	18.6	18.0	18.6	12.7	10.0	6.1	5.4	3.4	3.7	0.8
	4月 (N=9,340)	79.7	53.6	46.3	44.4	23.6	16.8	17.0	11.2	14.2	10.1	6.7	3.5	3.6	0.7
	5月 (N=9,355)	79.2	55.7	48.2	51.1	23.1	14.6	16.4	10.5	15.4	10.6	5.7	3.7	3.4	0.9
	6月 (N=5,360)	75.6	48.6	42.8	36.5	20.7	14.1	18.6	10.2	15.0	11.8	8.1	4.4	4.0	1.1
	7月 (N=6,478)	79.1	53.3	45.6	31.2	26.9	17.0	14.3	11.8	10.1	7.5	6.1	5.3	3.6	0.8
	8月 (N=6,984)	78.3	55.9	49.1	29.1	27.3	17.4	11.3	10.9	7.8	5.6	4.0	5.4	2.9	1.0
	9月 (N=4,478)	76.8	50.8	43.1	24.4	23.7	15.5	12.6	11.4	7.5	6.3	5.2	5.2	3.0	1.1
海外旅行	1月(N=1,263)	75.9	45.5	39.7	15.7	14.9	18.2	13.3	11.8	7.4	8.9	8.9	8.6	7.3	0.7
	2月(N=1,666)	80.9	52.7	43.5	18.1	15.2	17.9	11.5	11.6	8.8	7.0	6.8	5.0	4.8	1.1
	3月(N=4,331)	82.1	58.0	47.8	27.8	18.0	20.0	14.5	13.2	14.9	11.5	8.2	4.3	4.6	0.9
	4月(N=3,316)	78.7	49.4	40.2	30.9	19.1	15.6	13.4	10.3	16.8	13.8	9.3	3.1	2.9	0.5
	5月(N=3,149)	78.3	51.1	41.4	34.0	18.3	14.4	12.5	9.7	18.9	16.3	8.7	3.1	2.9	0.5
	6月(N=2,393)	77.0	44.6	36.6	26.9	16.3	13.5	13.4	8.7	19.6	18.3	10.5	3.5	2.7	0.7
	7月(N=1,732)	74.1	42.9	34.2	22.4	17.5	12.9	7.6	7.6	24.2	19.7	9.5	2.9	2.2	0.5
	8月(N=1,717)	74.1	44.8	34.9	22.1	17.6	11.8	7.2	6.9	23.7	19.7	6.9	3.0	2.1	0.8
	9月(N=1,525)	73.8	42.0	31.1	20.1	16.1	10.7	6.8	6.6	23.3	19.9	8.8	2.6	1.8	1.2

国内宿泊旅行「いまのところ実施予定」7月から5ポイント増加

- 10～12月の旅行予定について、「旅行実施または中止予定・旅行に行きたい」と答えた割合は54.4%と7月調査から大きな変化はありませんでした。
- 国内日帰り旅行および国内宿泊旅行を「いまのところ実施予定」とした回答者は、7月調査よりも増加しています。特に国内宿泊旅行においては5ポイント以上増加しました。

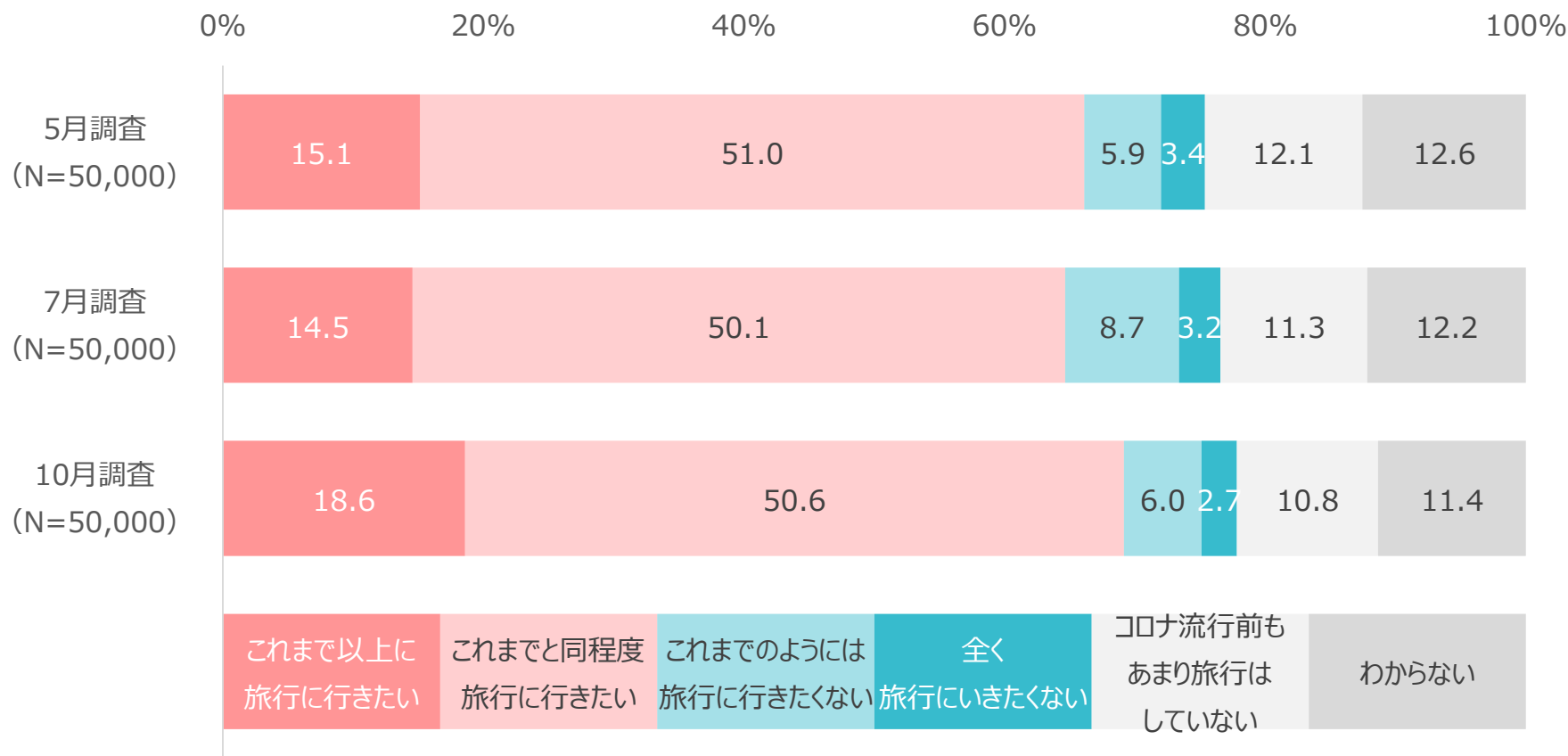
Q. この先の3ヶ月間の観光・レクリエーション旅行の予定についてお答えください。【複数回答】



10月調査「旅行に行きたい」7割超で調査開始以降最多

- 収束後に「旅行に行きたい」と答えた割合は、7月調査では5月調査より減少しましたが、10月調査では増加に転じ、旅行意向の回復がみられました。
- 各調査時の感染状況は、5月調査は新規感染者数が減少傾向だった時期、7月調査は第2波に向けて感染拡大していた時期、10月調査はGoToトラベルに東京が加わった時期でした。つまり、旅行意向はコロナ禍と連動しており、今後も新型コロナウイルスの状況に応じて変動する可能性が高いと考えられます。

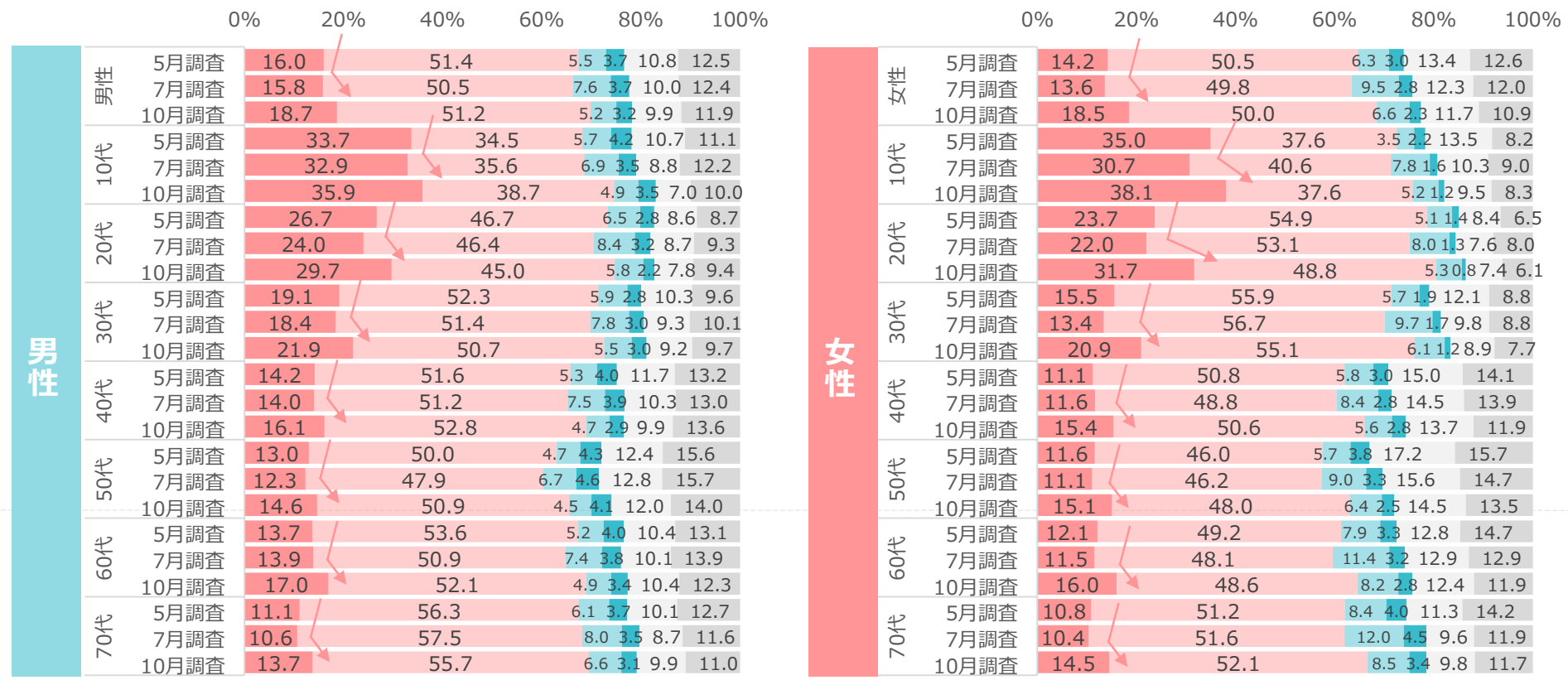
Q. 新型コロナウイルスが収束したら、旅行に行きたいですか。



10月調査：収束後「旅行に行きたくない」60～70代女性で1割超

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向を性年代別にみると、いずれの性・年代においても7月調査では減少し、10月調査には回復しています。
- 10月調査では「これまで以上に旅行に行きたい」は男女ともに10～20代で高く、「これまでのようには旅行に行きたくない」、「全く旅行に行きたくない」は60～70代女性で1割超と高い割合になっています。

Q. 新型コロナウイルスが収束したら、旅行に行きたいですか。

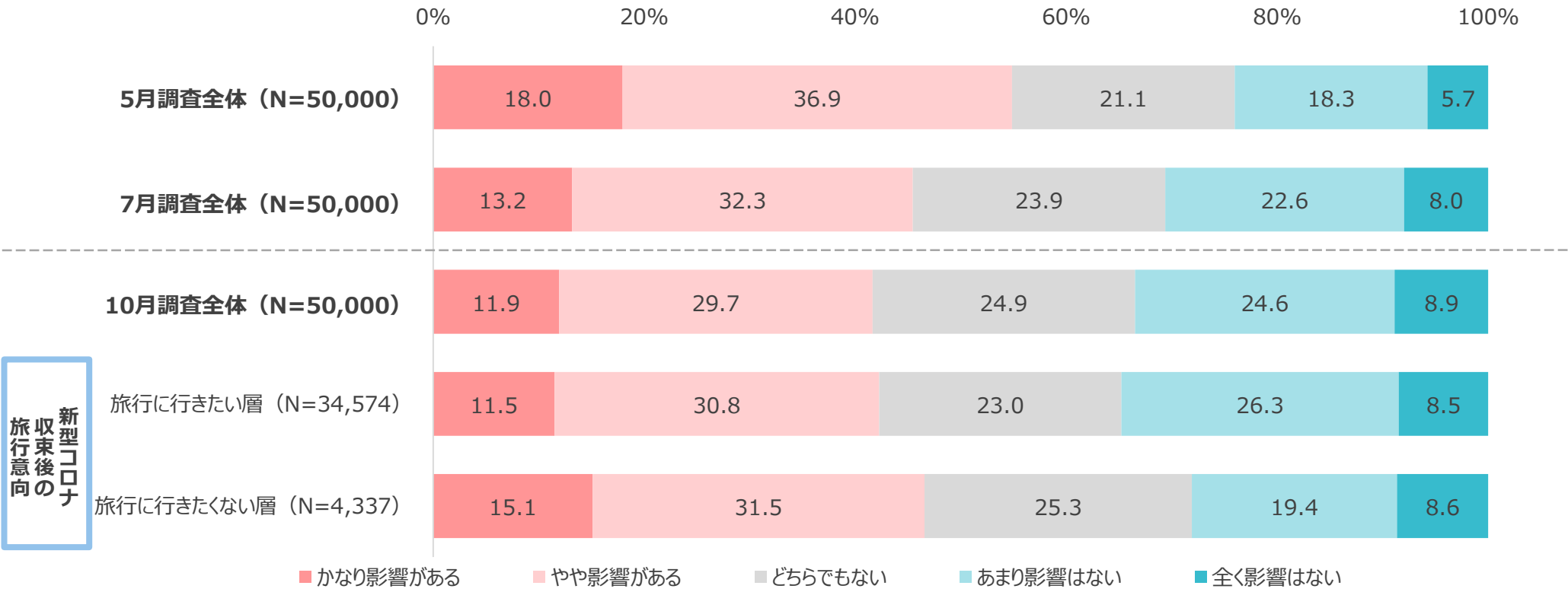


■これまで以上に旅行に行きたい ■これまでと同程度、旅行に行きたい ■これまでのようには旅行に行きたくない ■全く旅行に行きたくない ■コロナ流行する前もあまり旅行はしていない ■わからない

コロナ禍「家計への影響ある」7月調査から 9ポイント減

- コロナ禍での家計への影響について、「家計への影響がある（かなり影響がある+やや影響がある）」と答えた割合は、5月調査では5.5割だったものの、7月調査では4.5割、10月調査では4割程度にまで徐々に減少しました。
- コロナ禍収束後の旅行意向別にみると“旅行に行きたくない層”において、「かなり影響がある」と答えた割合が高く、家計への影響度が高いほど旅行意向が低い傾向にあると考えられます。

Q. 新型コロナウイルスの流行によって、家計への影響はありますか。



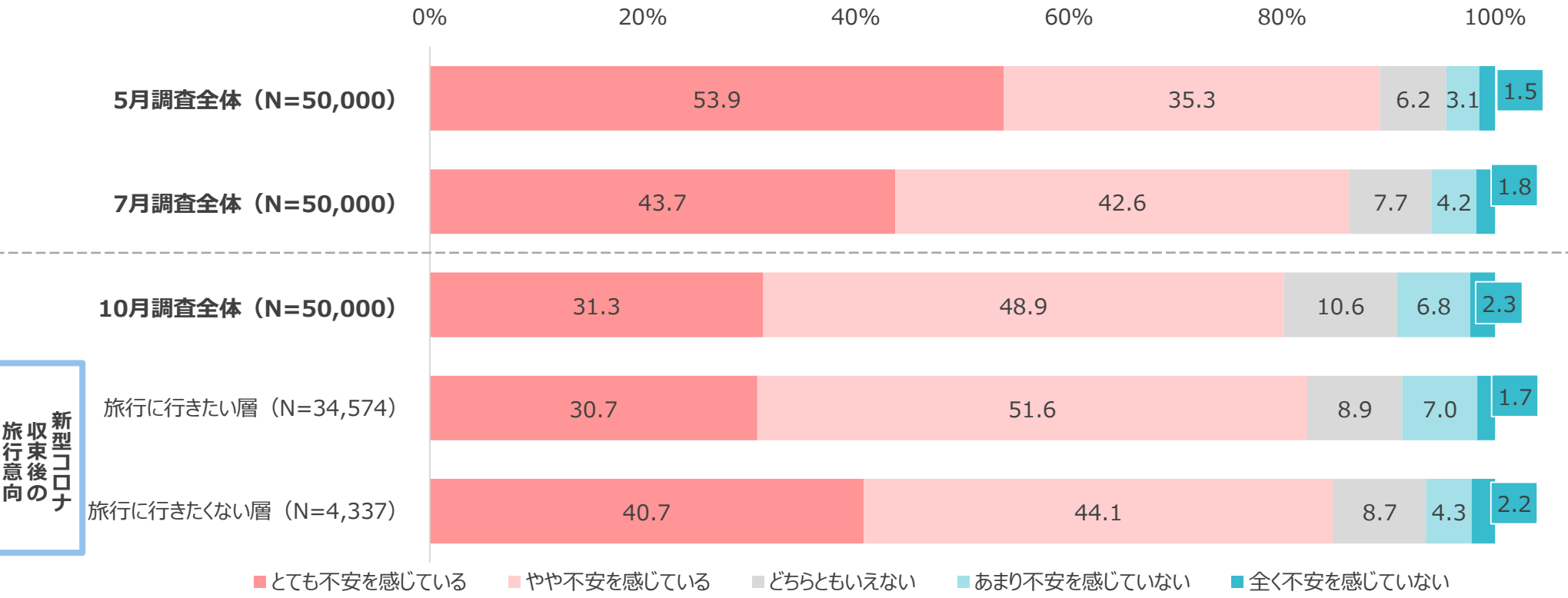
旅行に行きたい層：【これまで以上に旅行に行きたい】+【これまでと同程度旅行に行きたい】
旅行に行きたくない層：【これまでのようには旅行に行きたくない】+【全く旅行に行きたくない】

※7月調査の新型コロナ収束後の旅行意向別における家計への影響の調査結果は（その6）掲載

コロナ禍「とても不安を感じる」7月調査から10ポイント減

- コロナ禍における不安の程度について、「とても不安を感じている」は、5月調査・7月調査においては4～5割と最も高い割合でしたが、10月調査においては3割程度に減少し、「やや不安を感じている」の5割を下回りました。
- コロナ禍収束後の旅行意向別にみると、“旅行に行きたくない層”のほうが「とても不安を感じている」が10ポイントほど高くなりました。この傾向は7月調査でも確認されました。

Q. 新型コロナウイルスの流行について、不安を感じていますか。



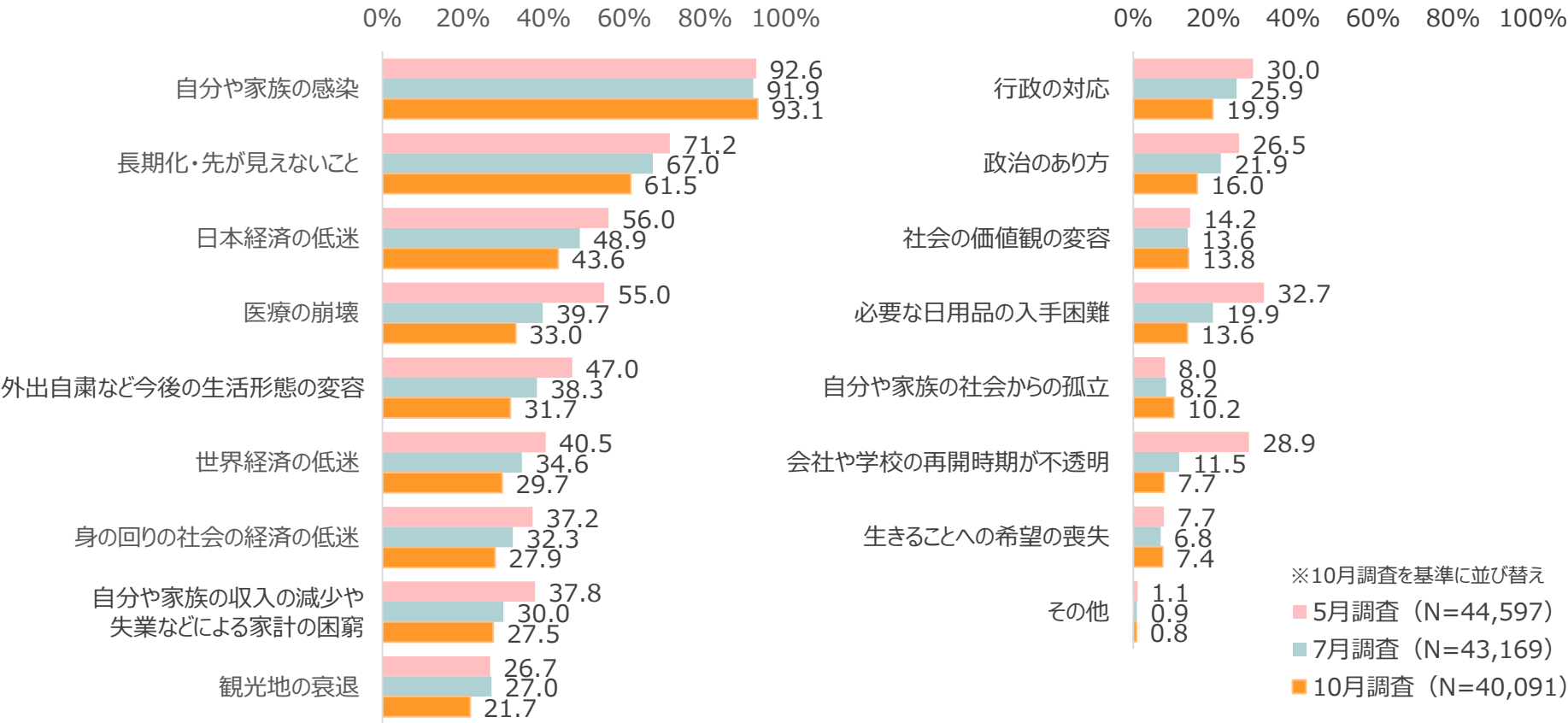
旅行に行きたい層：【これまで以上に旅行に行きたい】+【これまでと同程度旅行に行きたい】
旅行に行きたくない層：【これまでのようには旅行に行きたくない】+【全く旅行に行きたくない】

※7月調査の新型コロナ収束後の旅行意向別における不安の程度の調査結果は（その6）掲載

「自分や家族の感染」 10月調査でも9割が懸念

- コロナ禍における不安の内容は「自分や家族の感染」が最も高く、10月調査では93.1%と調査開始以降最も高くなりました。
- 初期において3割以上が懸念していた「必要な日用品の入手困難」は1割程度まで落ち着きました。その一方で、「社会の価値観の変容」「社会からの孤立」「生きることへの希望の喪失」は初期からほぼ減少しておらず、ボリュームは大きくないものの、不安が継続しています。

Q. 新型コロナウイルスの流行について、どのような不安を感じていますか。(不安を感じている人のみ)【複数回答】

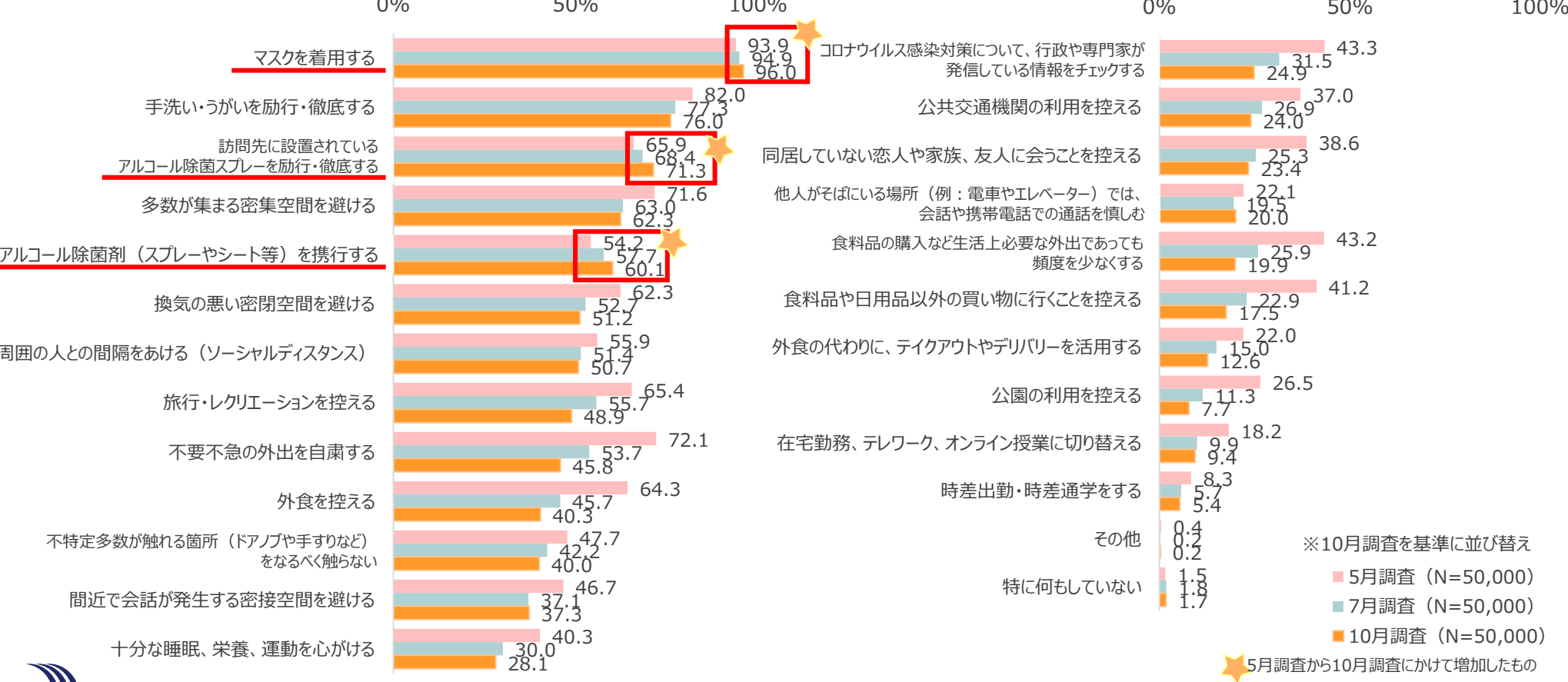


※10月調査を基準に並び替え
■ 5月調査 (N=44,597)
■ 7月調査 (N=43,169)
■ 10月調査 (N=40,091)

日常でのコロナ対策：マスク着用、アルコール消毒が継続して増加

- ・ コロナ禍における日常での対策は「マスクを着用する」が9割以上と最も高く、調査開始以降その割合は増加しています。「訪問先に設置されているアルコール除菌スプレーを励行・徹底する」、「アルコール除菌剤を携行する」も徐々に増加しており、マスクやアルコール除菌等の感染対策の徹底が浸透していることがわかります。
- ・ 「旅行・レクリエーションを控える」は7月調査に比べ約7ポイント減少していますが、約半数が実施している対策となりました。

Q. 新型コロナウイルスの流行に対して、日常生活の中でどのような対策をしていますか。【複数回答】



※10月調査を基準に並び替え
■ 5月調査 (N=50,000)
■ 7月調査 (N=50,000)
■ 10月調査 (N=50,000)
★ 5月調査から10月調査にかけて増加したもの

新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その8）

～ JTBF旅行実態調査結果より ～

2021年1月13日発行

公益財団法人日本交通公社

観光地域研究部 市場調査チーム

五木田 玲子 / 仲 七重 / 安原 有紗 / 中島 泰 / 寺崎 竜雄

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化情報センター

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>